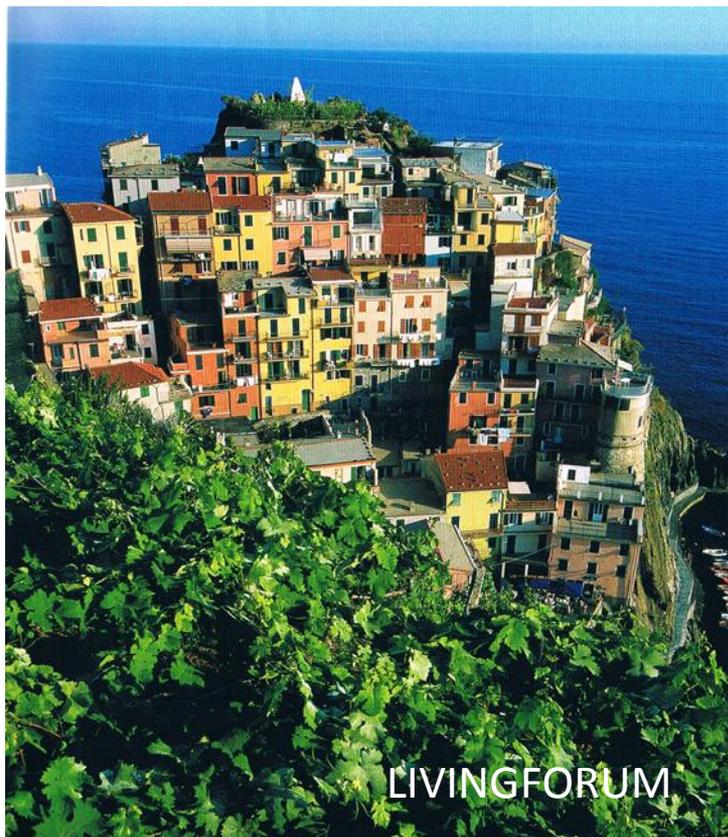


# 世界の住宅

## リグリア海の秘宝チンクエ・テッレ

首飾りに輝く5つの宝石のようなチンクエ・テッレ(5つの村)。村と村をつなぐ青い小道をたどっていく。眼下では、きらめく空色のリグリア海が水平線に続いている。



# グランド・トランク・ロード

パキスタン北西辺境州からインドの大都市コルカタに至る、活気に満ちた一帯に冒険の旅に出て、イスラム美術とヒンドゥー教の聖地。



ベルリンにある6つの近代集合住宅群が、2008年、世界遺産に登録されました。20世紀初め、労働者のために造られたものです。



- 20世紀初頭のドイツでは急激な工業化が進み、都市に多くの労働者が流入。住宅環境は劣悪で、下水道もないアパートに大家族がひしめき合い、結核がまん延していました。そうした状況を改善しようと立ち上がったのが、タウトを中心とする建築家たちです。当時、大量生産が可能になったコンクリートやガラスなどの素材を駆使することで、コストを抑えつつ、独創的な色使いやデザインで、個々の家に個性をもたせる工夫がされました。もう一つの特徴は、緑あふれる庭の存在です。タウトの設計の根底には、住まいとは、建物だけでなく周囲の環境も合わせて、住む人を心豊かに幸せにするものでなくてはならないという考えがあったのです。その先進性は、世界の住宅政策や都市計画にも大きな影響を与えました。そして、タウトらが造った住宅群には、建設から80年以上時を経た今も人々が住み続けています。

アイスランドのリング・ロード



アイスランド民族博物館。